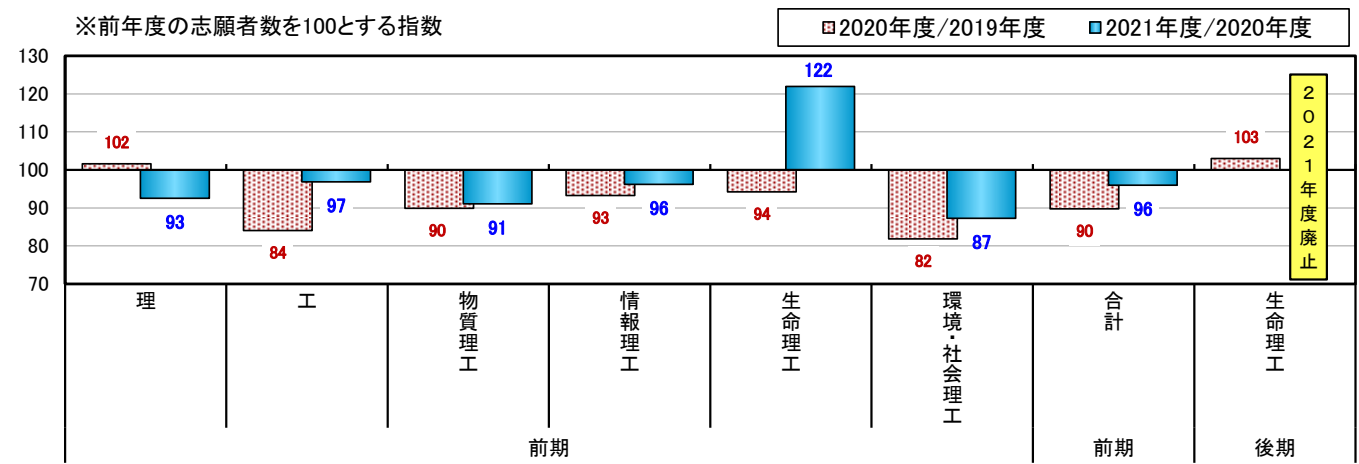


2021 年度入試状況分析【国公立大】

東京工業大：大学全体で3年連続減少、志願者数3,600人台へ

前期：-152人



入試変更点 選抜方法：生命理工<後>…後期廃止
 募集人員：生命理工…<前>105人→135人、<後>35人→0人

COMMENT ※ ()内の数値は志願者数の前年度対比指数

生命理工の後期が廃止となり、前期のみの募集となり、前期募集人員は30人(募集人員前年度対比指数103)増加した。大学全体では、152人(96)の減少で3年連続減少。前期志願者数は2011年度入試以来の3,600人台で、志願倍率も2010年度入試以来の4倍を下回った。

- <前期日程>
- 理(93)は、前年度微増だったが、やや減少。
 - 工(97)は、前年度大幅減少の反動はなく、やや減少。
 - 物質理工(91)は、志願倍率は前年度2.7倍と6つの学院で2番目の低倍率だったが、さらに志願者数が減少して2.5倍までダウンした。
 - 情報理工(96)は、9倍を超える高い志願倍率を敬遠して2年連続やや減少したが、それでも志願倍率は6つの学院で最も高倍率の8.8倍だった。
 - 生命理工(122)は、大幅増加だが、後期の廃止で募集人員が30人(募集人員前年度対比指数129)増加したため競争は緩和して、志願倍率は2.2倍にダウンして、6つの学院で最も低倍率だった。
 - 環境・社会理工(87)は、前年度大幅減少の反動はなく、さらに減少して、減少率は6つの学院で最も大きかった。志願倍率も、前年度の3.9倍→3.4倍にダウンした。